

雪んこ探検



野幌森林公園は、札幌市、江別市、北広島市にまたがって広がっています。総面積2053ha、北海道百年を記念して1968（昭和43）年、道立自然公園に指定されました。園内には、北海道博物館、北海道開拓の村、百年記念塔、北海道自然ふれあい交流館、埋蔵文化財センターなどの施設の他、見所が異なる様々な散策コースがあり、1年中多くの人々が訪れ、思い思いに楽しんでいます。

今年2018年は、「北海道」命名150年という節目の年です。北海道では、これに合わせ、北海道博物館、北海道開拓の村、百年記念塔の3施設、及び周辺地域を含めて自然豊かな空間として捉え、隣接した他の文化・スポーツ施設等とも連携しながら、自然・歴史・文化「体感」交流空間として再生させる構想をまとめることとしています。

表紙：人気のどさんこ馬そり。3月までの土・日・祝日、さっぽろ雪まつり期間運行。後ろは、北海道開拓の村入口、旧札幌停車場

目次：自然ふれあい交流館主催「冬の森の探検隊IN開拓の村」で、春の準備をしている冬の芽を観察
裏表紙：百年記念塔。1970年完成。高さ100m、底面は雪の結晶にちなむ六角形。先人の苦労への感謝と、未来を創造する道民の決意をあらわす

隊



開拓の村



当館では、1年を通してどなたも楽しめるような行事を用意しています。2月には、スノーシュー（かんじぎ）をはいて、開拓の村の森の奥に出かけ、親子で雪の森を探検する観察会を行っています。観察会では積もった雪の上をどこでも歩けるので、みんな大喜びです。北国の長い冬の1日、是非、多くの方に訪れてほしいです。

野幌森林公園
北海道自然ふれあい交流館
普及啓発員 濱本 真琴 さん